

核医学論文賞歴代受賞者

第	年	受賞者	所属機関	掲載号	頁	論文タイトル
1回	1986	篠遠 仁	放射線医学総合研究所	22巻12号		11C-Ro 15-1788 ポジトロンCTによる in vivo ベンゾジアゼピンレセプターの研究
2回	1987	古川 高子	川崎医科大学 核医学科	23巻4号		ガリウム標識抗体を用いる腫瘍のradioimmunodetection: ガリウム標識の抗体活性に及ぼす影響 について
3回	1988	岸田 敏博	自治医科大学 外科	24巻7号		甲状腺組織への201Tlの集積機序の解明: 201Tl-chloride シンチグラフィの dynamic study による甲状腺腫瘍の質的診断の有用性
4回	1989	横山 邦彦	金沢大学 核医学科	25巻1号		癌の免疫シンチグラフィにおける高免疫活性モノクローナル抗体の有用性に関する実験的研究: (1) 高免疫活性抗体の分離・精製法の開発 (2) 腫瘍集積性に及ぼすモノクローナルの免疫活性の影響
5回	1990	百瀬 敏光	東京大学 放射線科	26巻9号		N-isopropyl-p [1-123] iodoamphetamine SPECT によるアルツハイマー病患者の脳血流に関する研究
6回	1991	松田 博史	金沢大学 核医学科	27巻10号		コリン作動性中枢支配の核医学的画像化の基礎的研究: アルツハイマー病動物モデルにおける神経伝達物質および受容体の変化
7回	1992	米澤 久司	岩手医科大学 神経内科	28巻1号		ヒト前頭葉における11C-N-methylspiperone の結合能の加齢による変化
8回	1993	星崎 洋	群馬大学 第二内科	29巻11号		再灌流後の局所心筋糖代謝: PETによる検討
9回	1994	山科 久代	東邦大学大森病院 第一内科	30巻7号		111In標識低比重リポ蛋白 (LDL) を用いた LDL体内分布および動脈硬化巣イメージングの検討
10回	1995	孫 保福	金沢大学 核医学科	31巻5号		スペーサ含有および非含有二官能性キレート剤を用いた111In標識モノクローナル抗体の比較研究 (I) 標識法および in vitroでの安定性の検討 (II) 担癌ヌードマウスにおける体内動態の検討
11回	1996	菅原 敬文	愛媛大学放射線科	32巻3号	287-99	SPECTによる閉塞性脳血管障害の脳循環評価-Diamox負荷の有用性とCrossed cerebellar diaschisisの意義について-
12回	1997	藤林 靖久	京都大学薬学部遺伝子薬品学講座	33巻2号	115-22	111In標識アンチセンス核酸による腫瘍イメージングの可能性に関する検討-合成、安定性、体内分布-
13回	1998	渡辺 賢一	新潟薬科大学 臨床薬理学	34巻12号	1125-30	I型, II型 CD36欠損症と123I-BMIPP心筋無集積について
14回	1999	小須田 茂	防衛医科大学校 放射線科	35巻6号	395-404	肺腫瘍(非小細胞癌)における胸部FDG-PETの医療経済効果に関する判断分析(第I報)
15回	2000	奥山 智緒	京都府立医科大学	36巻8号	827-834	神経芽腫の診断における123I-MIBGシンチグラフィの集積程度、サイズ、尿中カテコールアミン代謝産物、組織型についての検討
16回	2001	周郷 延雄	東邦大学医学部附属大森病院 脳神経外科	37巻4号	311-318	脳腫瘍における201TlClの集積機序の差異 -Na ⁺ -K ⁺ ATPase 活性の比較
17回	2002	長町 茂樹	宮崎医大	38巻6号	737-745	孤立性肺結節における201Tl-SPECT の診断能の再検討-生検、腫瘍マーカー検査との比較
18回	2003	穂坂 春彦	自衛隊中央病院	39巻4号	501-510	携帯型持続持続心機能モニター
19回	2004	該当者なし				